

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工業研究費

事業名 **新**生活技術研究所LED照明改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 生活技術研究所 管理調整係 電話番号：0577-33-5252

E-mail：c23106@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,789 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0								0
要求額	9,789								9,789
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

生活技術研究所は、照明器具として蛍光灯 (一部LED) を使用しているが、蛍光灯器具は一部製造中止となっており、将来的に蛍光管も製造中止となる見通しである。

当所は昭和47年の建設時から48年経過しており、庁舎の耐用年数の65年まで17年以上使用見込みがあることを考慮すると、省電力化も図られ節電対策ともなる照明器具のLED化工事を早急に実施する必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 蛍光灯撤去、LED取付、既設照明器具等処分
- ・ 照明器具取替工事 (設計) 0 → 952 千円 (工事費の 10.77%)
- ・ 照明器具取替工事 (工事) 0 → 8,837 千円

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	952	照明器具取替工事の設計
工事請負費	8,837	照明器具取替工事
合計	9,789	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 製造中止が見込まれる蛍光灯器具等をLEDへ取り替える工事を実施し、建物全体の節電及び長寿命化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
	(H)	件 (H)	件 (H)	件 (H)	件 (H)	%
	(H)	件 (H)	件 (H)	件 (H)	件 (H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

建物修繕に係る費用であり、指標の設定に適しない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>生活技術研究所は、昭和47年に開所し48年が経過していることから、今後17年以上使用見込みがある。</p> <p>製造中止見通しの照明器具等を取り替え、県有施設として適切に管理する必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>開所から48年が経過することから、老朽化により更新や修繕を要する設備が増加するものと見込まれ、計画的な管理が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>「県有施設中長期保全計画」に基づき、建物を長寿命化させながら適正な運営管理を行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	